

ブドウの消費者ニーズ把握のための 「グループインタビュー」

本事業の「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」においては、早期結実する小果樹類やブドウの新品種「シャインマスカット」等について、安定生産技術の検討や販売のための市場調査を行っています。宮城県農業・園芸総合研究所の情報経営部では、この実証研究の一環として平成26年9月30日に本事業のオープンラボにおいて、ブドウの消費者ニーズ把握のための「グループインタビュー」を行いました。

「グループインタビュー」では、当研究所に登録のある農産物消費者モニターの方に、ブドウに関するイメージや食べ方、好きな品種等の意見を自由に話していただきました。あわせて新品種「シャインマスカット」の試食評価や、販売に関する要望や意見をいただきました。今年度は「グループインタビュー」から得られた情報と、これまでに行った市場調査や実需者への調査結果を取りまとめ、「シャインマスカット」の県内への導入や販売方法等について、生産者に向け情報提供していくことにしています。

<ブドウのグループインタビュー>



グループインタビューとは

調査対象者を5～6人集め、司会者が調査テーマについて質問を行い、自由に発言をしてもらうことで、様々な意見・情報を収集する調査の手法です。